

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社セキュアヴェイル 上場取引所 東 札
 コード番号 3042 URL https://www.secuavail.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米今 政臣
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部マネージャ (氏名) 林 泰弘 TEL 06-6136-0026
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	260	△17.5	△52	—	△51	—	△53	—
2026年3月期第1四半期	315	37.8	39	—	39	—	28	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 △50百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 30百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△6.99	—
2026年3月期第1四半期	3.72	3.72

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	1,505	1,192	79.2
2026年3月期	1,579	1,281	81.1

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 1,192百万円 2026年3月期 1,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	3.00	3.00

（注）2026年3月期の期末配当の内訳 普通配当3円00銭、上場記念配当2円00銭
 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,438	12.4	138	22.4	138	19.9	95	△9.5	12.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	7,690,000株	2026年3月期	7,690,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	448株	2026年3月期	448株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	7,689,552株	2026年3月期1Q	7,689,552株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・業績予想の前提条件及びその他関連する事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当第1四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当第1四半期連結会計期間末の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当第1四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループが属するIT・情報セキュリティ市場においては、経済安全保障への対応や、国際的な決済ネットワーク障害を契機とした重要インフラのレジリエンス強化が急務となっております。自治体のガバメントクラウド移行についても、期限が2026年度末へ延長される一方、利便性を背景に特定事業者への集中が進み、我が国のデジタル主権やシステム間連携に伴う膨大な通信ログの統合管理・運用統制が大きな課題となっております。

こうした高度化するクラウドセキュリティに対し、対応可能な人材の不足は官公庁・民間企業を問わず深刻化しており、複雑なログ管理の自動化やSOC運用の外部支援に対する需要が高まっております。当社はこれらの需要に応えるべく、創業25年のSOCの知見とAIを融合した「AI-SOC」シリーズを昨年後半より重点的にリリースし、国内最大級のネットワーク&セキュリティ展示会であるInteropにおいても、実用的な高い評価を得るなど、認知度向上と商談機会の拡大につながっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、ストック型サービスは前年同期並みに推移したものの、前第1四半期連結累計期間にあった大型のソフトウェアの販売案件がなかったことに伴い、売上高は260,532千円（前年同期比17.5%減）となりました。

利益面では、将来の受注獲得に備えた既存ソフトウェアに係る先行的な費用を20,020千円計上したことに加え、広告宣伝費が4,865千円、人件費が12,789千円増加したことなどから、営業損失52,546千円（前年同期は39,734千円の営業利益）となりました。また、経常損失は51,979千円（前年同期は39,842千円の経常利益）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は53,751千円（前年同期は28,624千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当第1四半期連結累計期間に実施した既存ソフトウェアに係る先行的な費用計上及び広告宣伝費の増加は、中長期的な事業拡大及び企業価値の向上に向けた先行投資であり、今後の収益拡大への寄与を見込んでおります。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(a) 情報セキュリティ事業

情報セキュリティ事業につきましては、ストック型サービスの契約更新、新規案件の獲得、「AI-SOC」シリーズの広告宣伝に注力しました。売上高は194,776千円（前年同期比23.9%減）、セグメント損失につきましては、22,058千円（前年同期は74,952千円のセグメント利益）となりました。

(b) 人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、派遣先からの案件受注が順調に推移したことにより、売上高は65,756千円（前年同期比10.2%増）、セグメント利益につきましては、7,634千円（前年同期比13.3%減）となりました。

(2) 当第1四半期連結会計期間末の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,352,400千円となり、前連結会計年度末に比べ75,261千円の減少となりました。これは主に、売掛金が114,063千円減少したことに対し、現金及び預金が42,445千円増加したことによるものであります。

固定資産は152,663千円となり、前連結会計年度末に比べ1,256千円増加いたしました。

この結果、資産合計は1,505,063千円となり、前連結会計年度末に比べ74,005千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は294,267千円となり、前連結会計年度末に比べ14,857千円増加いたしました。

固定負債は18,452千円となり、前連結会計年度末に比べ436千円の増加となりました。

この結果、負債合計は312,720千円となり、前連結会計年度末に比べ15,294千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,192,343千円となり、前連結会計年度末に比べ89,299千円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が92,199千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.2%（前連結会計年度末は81.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予測につきましては、2026年5月14日決算発表時の業績予想を変更しておりません。

(用語説明)

ガバメントクラウド：デジタル庁が主導して整備する、国や地方自治体が共同で利用する共通のクラウド基盤です。これまで各組織が個別管理していたシステムを一つにまとめることで、コスト削減、セキュリティ向上、行政手続きのオンライン化を推進する仕組みです。

クラウドセキュリティ：インターネット経由で利用するクラウド環境（データ、アプリ、サーバーなど）を、不正アクセスやサイバー攻撃、情報漏洩から守る対策の総称です。クラウド事業者と利用者が協力して責任を分担するのが最大の特徴です。クラウドサービスは場所や端末を問わず手軽に利用できる反面、インターネット上にデータが存在するため、適切な対策をしないと誰からでもアクセスされてしまうリスクを伴います。

SOC (Security Operations Center)：ネットワークでのサイバー攻撃や情報漏洩等を24時間365日監視・早期検知・分析・対応する専門組織又はその機能

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,130,962	1,173,408
売掛金	236,674	122,610
原材料及び貯蔵品	7,580	4,746
前渡金	26,472	22,569
前払費用	24,722	28,516
その他	1,248	548
流動資産合計	1,427,661	1,352,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	757	666
工具、器具及び備品（純額）	4,043	3,637
リース資産（純額）	7,091	6,575
有形固定資産合計	11,892	10,879
投資その他の資産		
投資有価証券	66,457	71,020
差入保証金	43,612	43,212
繰延税金資産	23,074	20,641
その他	6,371	6,910
投資その他の資産合計	139,514	141,783
固定資産合計	151,407	152,663
資産合計	1,579,068	1,505,063
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,193	6,029
リース債務	2,269	2,280
未払金	19,669	56,083
未払費用	53,782	54,034
未払法人税等	26,682	3,747
未払消費税等	31,143	13,165
前受金	111,576	135,427
預り金	4,897	12,727
賞与引当金	20,944	10,771
その他	250	—
流動負債合計	279,409	294,267
固定負債		
リース債務	5,525	4,951
資産除去債務	8,024	8,024
退職給付に係る負債	4,465	5,476
固定負債合計	18,016	18,452
負債合計	297,425	312,720

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	627,580	627,580
資本剰余金	323,782	323,782
利益剰余金	325,107	232,907
自己株式	△123	△123
株主資本合計	1,276,346	1,184,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,016	7,916
その他の包括利益累計額合計	5,016	7,916
新株予約権	280	280
純資産合計	1,281,643	1,192,343
負債純資産合計	1,579,068	1,505,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	315,755	260,532
売上原価	152,303	171,045
売上総利益	163,451	89,487
販売費及び一般管理費	123,717	142,033
営業利益又は営業損失(△)	39,734	△52,546
営業外収益		
受取利息	122	169
受取配当金	6	30
雑収入	6	403
営業外収益合計	134	604
営業外費用		
支払利息	26	37
雑損失	0	0
営業外費用合計	26	37
経常利益又は経常損失(△)	39,842	△51,979
特別利益		
投資有価証券売却益	—	708
特別利益合計	—	708
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	39,842	△51,270
法人税、住民税及び事業税	5,670	1,380
法人税等調整額	5,547	1,099
法人税等合計	11,218	2,480
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,624	△53,751
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	28,624	△53,751

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,624	△53,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,404	2,899
その他の包括利益合計	1,404	2,899
四半期包括利益	30,028	△50,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,028	△50,852
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ. 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結財務諸表 計上額(注) 2
	情報セキュリティ 事業	人材サービス 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	256,109	59,645	315,755	—	315,755
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	256,109	59,645	315,755	—	315,755
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	9,719	9,719	△9,719	—
計	256,109	69,364	325,474	△9,719	315,755
セグメント利益	74,952	8,802	83,754	△44,020	39,734

(注) 1 セグメント利益の調整額△44,020千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結財務諸表 計上額(注) 2
	情報セキュリティ 事業	人材サービス 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	194,776	65,756	260,532	—	260,532
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	194,776	65,756	260,532	—	260,532
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	8,252	8,252	△8,252	—
計	194,776	74,008	268,785	△8,252	260,532
セグメント利益又は損失 (△)	△22,058	7,634	△14,424	△38,121	△52,546

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△38,121千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	516千円	1,012千円